

ITO

[第5回]東北六県高校書道交流展



I T O



繋がる思い、伝える言葉

東日本大震災から10年経った2021年春、第1回東北六県高校書道交流展を開催し、東北に生きるすべての方々へ向けて、東北六県の高校生たちが「書のエール」を発信しました。お陰様で多くの方々にご覧いただき、共感・共鳴していただくことができました。東日本大震災から14年となる今年(2025年3月)もその趣旨を受け継ぎ、第5回展を開催いたします。

テーマの「絆」は、一本だけでは細く弱いものですが、何本もの糸を撚り合わせれば、太くて強い撚糸になります。さらに、それを織ることによって、強い布になります。震災から14年、東北六県の高校生たちが連携して強い横糸となり、さらに過去に学び未来へ希望をつなぐ時間的つながりという縦糸を得られれば、個々は小さく弱くても、震災を乗り越え、災害や苦難も克服できる強い存在になれるのではないかと、そう考えています。

東北地方に暮らす私たちにとって東日本大震災は決して忘れることの出来ない未曾有の災害でした。甚大な被害をもたらし、多くの方々が亡くなりました。しかし、あの時幼かった子どもたちは今、成長して高校生になっています。その高校生たちが今の思いを「書」にしたため、未来に向かって若者らしく、希望をもって復興の道を歩んでいる姿を示したいと思っています。歴史的に見れば、その時々の人々はさまざまな災害や苦難を乗り越えてきました。そうした先人の姿に学びながら、震災を乗り越えつつある私たちだったら、きっとこの災害や苦難も乗り越えられる、そう信じていることができますように、災害や苦難へ立ち向かっているすべての人へのエールを「書」にしたため、発信したいと思っています。

また、地球環境の変化、温暖化などの影響もあって、近年は私たちがこれまで経験したことのない規模の地震や豪雨などの自然災害が地球規模で度々発生しています。そんな今だからこそ、東北六県に生きる高校生たちが、大震災の記憶を継承しつつ、ふるさとを想う心、再起に向かって助け合うことの大切さを書にしたため、人々に訴えかける貴重な機会となることを願っています。

[仙台会場] 入場無料

令和7年 3月29日(土)・30日(日)

9:30~18:00

せんだいメディアテーク 1F

仙台市青葉区春日町2-1

仙台市営地下鉄南北線 勾当台公園駅から徒歩6分

[松島会場] 瑞巖寺拝観料(700円)が別途必要

令和7年 3月25日(火)~3月30日(日)

9:00~16:30

国宝 瑞巖寺 大書院

宮城県松島町松島字町内91

JR仙石線 松島海岸駅から徒歩10分

《主催》東北六県高校書道交流展実行委員会 《特別協力》国宝 瑞巖寺

《後援・協賛》宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 松島町教育委員会 宮城県高等学校文化連盟書道専門部

東北六県商工会議所連合会 (株)宮城県学校用品協会 (株)藤崎 (株)七十七銀行 (株)ル・プロジェ

(有)有隣堂表具店 協和貿易(仙台キョー和) (株)(有)西川玉林堂 (有)高石事務機 (有)丸勝櫻井製材所

横山美創 Hair Design Popolarita ティガリアルエステート(株) (株)クラシコ

《問い合わせ先/事務局》聖ウルスラ学院英智高等学校 書道部顧問/高橋真理 〒984-0828 宮城県仙台市若林区一本杉町1-2 TEL.022-286-3557(代)